

ぱーとなーず

vol. **49**
2020.11

地域とけんみん信組をつなぐ情報誌

<発行所>
山梨県民信用組合 営業統括部
総合相談センター
〒400-0032 甲府市中央1丁目18-6
Tel. 055-233-4176



11月1日 山梨県民信用組合杯
ゲートボール大会が開催されました。
写真は優勝チームと長坂支店のメンバーです。

山梨県民信用組合は、地域の皆様を応援してまいります。

私たちは緑の募金に
参加しています。



私たちは
献血推進キャンペーンを
応援しています。



皆様のベストパートナーをめざして

山梨県民信用組合



ちかくにいるから、
チカラになれる。

山梨県民の日

11月20日は、山梨県の「県民の日」です。「県民の日条例」では、「郷土について理解と関心を深め、ふるさとを愛する心をはぐくみ、共に次代に誇りうるより豊かなふるさと山梨を築きあげることを期する日」としており、県立施設の無料開放等が行われています。

「県民の日」は、明治4年(1871年)11月20日(太陽暦では12月31日)に、甲府県を改め、山梨県が誕生したことにならぬもので、山梨県の名称は、当時の明治政府が、明治維新の戦いで朝廷側についた鹿兒島藩(薩摩)、山口藩(長州)、高知藩(土佐)、佐賀藩(肥前)などについては旧藩名を県名に使い、幕府側についた藩やその他は、新しくその地域の郡名や山川名を県名とする方針とし、甲斐国は徳川家の天領であったため藩の制度はなく、明治政府誕生に功績がなかったため、当時あった山梨・八代・巨摩・都留の4郡のうち、甲斐国の中心の甲府が属していた「山梨郡」をもって県名としたといわれています。

山梨県となって、来年で150周年を迎えますが、周囲を山々に囲まれ、県外との往来が不便だった山梨県は、明治、大正、昭和、平成、令和と時代が過ぎる中で、2度の県外との交通手段の整備により、産業、経済が大きく発展しました。明治36年(1903年)の中央線の開通であり、昭和57年(1982年)の中央自動車道の全線開通です。交通基盤の整備が産業経済に与える影響は美に大きいものがあります。

現在、全国の都道府県において、「空港」「新幹線の駅」のいずれの高速の移動手段が存在しないのは、山梨県と奈良県、三重県のみであり、「リニア新幹線」の開通は、Withコロナの時代、山梨県の更なる発展の起爆剤として大いに期待される所です。

今後の発展が期待される山梨県、当組合にとつては、その公金を預かり、また、必要な資金の貸し出しを行う大切なお客様であるとともに、地域経済の活性化に向けて共に取り組むパートナーでもあります。当組合は、「山梨」を冠し、組合の名称としています。全国に「○○県信用組合」と県名を冠する信用組合は数多くありますが、「○○県民信用組合」と名乗る信用組合は、「山梨県民信用組合」の他は一つだけです。

今後とも、その名に恥じぬよう、豊かなふるさと山梨を築くため、山梨県とともに山梨県民の皆様のために歩んでまいります。



【リニア実験線(山梨県リニア推進課提供)】



【中央自動車道】



【開通式のテープカット】



【中央線笹子隧道大和口付近(山梨県立博物館所蔵)】



日本酒で乾杯!!

「林間燗酒焼紅葉(林間に酒を燗め紅葉を焼く)白居易」とあります。温めたお酒が美味しい季節です。山梨県は、ワイン県を宣言しましたが、山梨でも名水を自慢に美味しい日本酒がたくさん造られています。

平成25年に、日本酒をもっと飲んでもらおうと酒どころ京都で、「京都市清酒の普及の促進に関する条例」が制定され、これを皮切りに、地元特産のお酒を振興しよう、PRしよう、いわゆる「乾杯条例」を制定する動きが全国の自治体に広がり、現在、都道府県では11の自治体が制定しています。しかし条例の名称は、有名な酒どころでも「県産酒」や「地酒」等と広く地元の酒全体を盛り立てようという内容になっており、「日本酒で乾杯」としているのは佐賀県だけで、山梨県の「ワイン県宣言」は際立っています。山梨県のワインのブランドが上がれば、県産の日本酒、ウイスキーも同じ山梨で作られたお酒として相乗的にイメージアップにつながるものだと思います。

日本酒は、近年、スパークリングが造られ人気が高まっており、日本酒を炭酸水でわった飲みやすい日本酒ハイボールも薦められています。

コロナ禍のなか、蔵元の出荷は落ち込んでおり、山梨県では、郡内織物製品やサービスクーポンなどのプレゼントを用意し、日本酒・ワインの県産酒販売促進キャンペーンを実施しています。

温めて飲むのもよし、冷やして飲むのもよし、一人で飲むのもよし、みんなで飲むのもよし。県産日本酒で乾杯!



【スパークリング日本酒: 井出醸造店(富士河口湖町)】



【水自慢の酒(谷桜酒造)北杜市】

日本酒ひとくちメモ

日本酒を飲むときは、「和らぎ水(やわらぎみず)」をどうぞ。「和らぎ水」とは、日本酒を飲みながら飲むお水です。日本酒を飲みながら、合間に、お水を挟むことにより、お酒のアルコール分が下がり、酔いの速度がゆっくり緩やかになり、また、一呼吸おくことで、飲みすぎないという効果もあります。さらに、お水で口の中をリフレッシュすることから、舌の感覚を鈍らせて、次のお酒や肴を美味しくいただけます。



“ワイン県”宣言

山梨県にはもう一つの名前があります。一昨年の8月に宣言した「ワイン県」です。讃岐うどんが有名な香川県は「うどん県」と改名して、同県出身の俳優を起用してPRを行っています。「ワイン県」は、これに勝るとも劣らぬインパクトがあります。

この9月には、長崎ワイン県(山梨県)知事は、日本ソムリエ協会から、名誉ソムリエの称号を認定され、今後、更なるワイン県の認知度が向上し、山梨県の地域ブランドが上がるものと思います。

海外でも評価が高まっている山梨県のワインですが、地域特性を生かしてワイン文化を醸成してきたとして、歴史あるワイナリーなど甲州市の22件を構成文化財に「日本ワイン140年史」が日本遺産に認定され、ますます国内外に山梨ワインの魅力の情報発信が高まるものと期待されています。しかしながら、コロナ禍により、旅行やイベントの自粛、飲食店の休業、輸出のキャンセルなど、ワインメーカーの出荷は落ち込み、在庫が増えている現状です。

山梨には、80を超えるワイナリーがあり、30数ヶ所の長野県、北海道を大きく引き離しています。太宰治が書いた「新樹の言葉」の一節に「押入れから甲州産の白葡萄酒の一升瓶を取り出し、茶飲茶碗で、がぶがぶのんで、酔ってきたので蒲団ひいて寝てしまった」とあり、県外の方には驚かれる一升瓶のワインを湯飲茶碗で飾らずに飲むという文化がありました。「葡萄酒夜光杯(葡萄酒の美酒夜光の杯)王翰」とあります。ワイン県を盛り上げるため、山梨のワインはいかがですか。



【一升瓶ワイン: 矢作洋酒(篠吹市)】

ワインひとくちメモ

「和食に合うワインはない」という認識のもと山梨に来た取材陣に、山梨県庁職員の仲田氏が県内を案内し、ワインが和食に合うことを納得させたのが人気漫画「美味しんぼ」第80巻のストーリーです。

お刺身とワインを同時に口に含むと感ずることがある生臭さは、ワインに含まれる鉄イオンが、魚介類に存在するDHAやEPAと呼ばれる脂肪酸が変化した過酸化脂質と化学反応し発生する生臭み成分(ヘプタジエンール)であることが、研究の結果判明しました。甲州ブドウから作られるワインは、含まれる鉄分が少なく生臭さが生じないことから、甲州ワインは日本食に合うことが科学的にも証明されています。

理事長訪問記

株式会社ササキ

山梨県民信用組合南理事長は、8月から、県内各地のお取引のあるお客様を訪問させていただきます。今回は、ハーネスやケーブルを製造している韮崎市にある(株)ササキ様を訪問しました。

※ハーネスは、電源供給や電気信号伝達を行う複数の電線の束と、端子やコネクタで構成された部品の集合体です。機械や装置の隅々まで張り巡らされおり、人間では血管や神経に相当する必要不可欠の部品です。

ササキは、平成7年(1995年)に、現会長の佐々木弘勇氏が立ち上げた会社で、当組合とは、その頃からの長いお付き合いです。



青い庇が印象的な入り口から社屋に入ると、作業場は整然としていて驚かされます。社長室にお邪魔すると目を惹くのが、ホンダのレーシングチームのバイクと同じ仕様のレプリカ(ミラー等を装着すれば公道も走行できます)です。日本で何台か生産されたうちの1台で、ササキがレーシングチームのバイクにハーネスを提供していた縁でここに置かれています。マシーンにとってハーネスがいかに重要かが窺えます。

会長の佐々木氏は、アナログからデジタルへ時代が転換するとき、電気を使うものでケーブル類が使われないものはない、あらゆる産業機械に需要があると感じ会社を立ち上げたこととです。先を見通す眼を持っておられました。



【バイクにまたがる南理事長】

ササキの経営の特徴は、他社と同じ土俵で勝負していないことです。価格競争に巻き込まれるような商品には手を出さず、量産工場では対応できない商品を、多品種・少量生産で扱っています。明日までに1本の商品を作って欲しいとオーダーされるお客様も多くおり、これに対応しています。こうした対応ができるための高い技術と信頼性を備えており、様々な分野からのお客様が増えています。

また、多くの会社で課題となっている事業継もスムーズに行われています。現社長の佐々木啓二氏が学生時代に所属した全国レベルの強豪校のサッカー部で培った指導力に信頼を寄せ、安心してバトンタッチが行われました。今は、佐々木会長は、銀行とのお付き合いや地元との交流の部分を負い、経営は社長に全面的に任されています。



株式会社ササキ
会長 佐々木 弘勇氏(写真左)
社長 佐々木 啓二氏(写真右)

こうしたササキの会社経営に感銘を受けた南理事長は、素晴らしい会社とお付き合いがあることを、日々の業務の励みとなるよう、全職員にメッセージとして伝えました。これからも末永いお付き合いをお願いいたします。

事業承継を知ろう

【事業承継とは】

事業承継とは、現在の経営者が、会社を後継者に委ねることです。国内の中小企業では、事業承継がスムーズにいかず廃業に至るケースが増えています。

【事業承継で何を承継するのか】

次のものを後継者に引き継ぐ必要があります。

- ①会社の経営権 ②資産(株式や事業用資産) ③知的財産(ノウハウや知識)

【事業承継の方法は】

事業承継の方法には、次の3つの方法があります。

- ①親族内承継: 息子や配偶者などの親族を後継者とする。(後継者の選定がスムーズ)
- ②親族外承継: 役員や従業員など親族以外の人を後継者とする。(会社を良く知っている人物を選べる)
- ③M&A: 会社を買収してもらう。(手元に売却益が残る)

【事業承継の主な手続は】

〈法人の場合〉

- 親族内承継 ◆贈与による後継者への株式の譲渡
※優遇税制を受けるためには山梨県知事による事業承継計画書の認定が必要
- 親族外承継・M&A ◆買い取りによる後継者への株式の譲渡

〈個人事業主の場合〉

- 親族内承継
 - ◆現経営者の廃業
 - ・個人事業に関する廃業届出書
 - ・青色申告の取りやめ届出書
 - ・消費税の課税事業者の事業廃止届
 - ・給与支払事務所等の廃止届出書
 - ◆後継者の開業
 - ・個人事業に関する開業届(同一の屋号を使用)
 - ・青色申告承認申請書
 - ・青色事業専従者給与に関する届出書
 - ・給与支払事務所等の開設届出書
 - ◆贈与による後継者への事業用資産の譲渡
※優遇税制を受けるためには山梨県知事による事業承継計画書の認定が必要
- 親族外承継・M&A
 - ◆現経営者の廃業
 - ◆買い取りによる後継者への事業用資産の譲渡

SDGsに取り組むと儲かる!

令和2年9月17日、「けんみん信組経営者クラブ」令和2年度第1回経営塾が開催されました。長谷川経営者クラブ会長の「SDGsに取り組むと儲かる」との挨拶のあと、甲府市出身で、(株)ノウハウバンクの三科公孝代表の「SDGs～実践による経営活性化～」をテーマに講演がありました。

SDGsは、日本語で「持続可能な開発目標」と言われ、2015年の国連サミットにおいて、加盟する193カ国の全会一致で採択された、2030年までに達成すべき国際目標で、「ジェンダー平等を実現しよう」「働きがいも経済成長も」「パートナーシップで目標を達成しよう」など持続可能でよりよい世界を目指し取り組む17の目標が掲げられています。

三科先生によると世の中は2極化しており、SDGsに共感する人が半数おり、世の中に良いことをすると儲けやすくなっているとのことでした。

企業が他の企業と戦わずに伸びるためには、ブランディングが必要であり、ブランディングは、抗生物質のように即効性はあるが、耐性ができて長続きしないマーケティングと異なり、漢方のようなもので、じんわり効いて長続きするものとしています。ブランドをつくるために、SDGsに取り組む、地球に良いことをすることが必要で、それもやって当たり前のものでは不十分で、また、見える化することが重要。人と同じ土俵に乗らず、競合相手のいない領域(ブルーオーシャン)を切り開くことにより企業は伸びていくことを豊富な事例をあげながら講演いただきました。

皆さまもSDGsに取り組んでみたらいかがでしょうか。



【三科先生による講演の様子】

仲間が選ぶベストパートナー

当組合の中で、若手の営業担当職員が中心となって、「勝手に選ぶけんみん信組『ベストパートナー』選考委員会」が立ち上がりました。

同委員会は、職員の自発的な組織で、知識、意欲、立ち振る舞い等の観点から、お客様から信頼される営業職員を、「勝手に選ぶけんみん信組『ベストパートナー』」として選出し、みんなで褒め称え、お客様にも紹介しているというものです。

この選出により、選出された職員に営業職員としての矜持が生まれ、また、今後の更なる精進が促され、お客様によりよいサービスが提供できるものと期待されています。

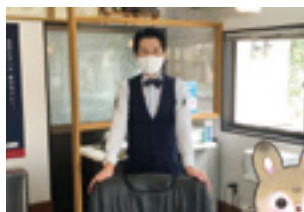
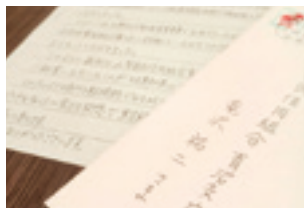
けんみん信組「ベストパートナー」

青沼支店 竜沢祐二係長は、入組10年のキャリアを持つ法人融資担当営業係です。竜沢係長は、「顧客目線」がモットーで、常に顧客の悩みに真摯に向き合い業務に励んでおり、人間関係を大切にし、お客様、また部下からの厚い信頼を得ています。また、情報収集にも熱心で、収集した情報を日頃の業務に活かしています。

過日は、新型コロナウイルスの影響を受け、当組合にご相談をいただいたことをきっかけにお取引開始となった(株)アップストリーム様(甲府市青沼)から丁寧な感謝のお手紙をいただきました。理容業と不動産業を営む(株)アップストリーム様は、それまで当組合のご利用はありませんでしたが、以前当組合が不動産探しを依頼した経緯があったことから、当組合青沼支店に、新型コロナウイルスの影響の相談にお越しいただきました。(株)アップストリーム様からの感謝のお手紙をいただきました。



【営業に出かける竜沢係長】



【お手紙を頂いたアップストリーム様】



「特定非営利法人 かんむら」様に 寄付金を贈呈しました!

山梨県民信用組合と山梨県信用組合協会では、社会貢献活動の一環として、皆さまにご利用いただいております信用組合業界のクレジットカード「しんくみピーターパンカード」の収益金の一部を「障がいを持つ子どもとその家族の健全育成」の趣旨に合致した活動を行っている団体に寄付を行っております。

今回は、「特定非営利法人 かんむら(代表者 岡秀行)」様に寄付金を贈呈しました。

かんむら様は、甲府市で年齢や障がいの有無にかかわらず、誰もが一緒にサービスを受けられる新しいかたち「共生型(富山型)デイサービス」を提供する「共生型デイサービス・かんむら」を運営し、平成30年4月に、県内初めての共生型デイサービス事業所としての認可を受けています。

現在、周辺の地域に暮らす方々で、日常生活上に何らかの支援を必要とする約30名の方が施設を利用し、お年寄りが小さな子どもを見



【かんむらの岡代表と南理事長】

守ったり、障がいのある方同士で助けをしたりしながら、サービスの提供を受けています。

山梨県信用組合では、地域の皆様と歩む金融機関として、ピーターパンカードの寄付金等地域の皆様にお役に立てるような取り組みを引き続き行っております。

新型コロナウイルスに乗じた 詐欺にご用心

新型コロナウイルス感染症の発生に乗じた不審な電話やメール等が確認されています。こうした新型コロナウイルス感染症に乗じた犯罪等の被害にあわないように、心当たりのない電話やメール、ウェブサイトには十分注意してください。

【新型コロナウイルスに乗じた犯罪等の事例】

★ATMへ誘導し、お金を振り込ませる事例

○国や市町村の職員を騙り、「新型コロナウイルス対策で助成金が出る」、「マスクを送付する」などと電話をかけ、ATMへ誘導し、お金を振り込ませようとする。

★偽サイトへ誘導し、口座やクレジットカード番号等の情報を盗む事例

○「特定金額給付金の振込みのために手続きが必要」、「マスクを無料で送付する(購入できる)」などといったメールやSNSを送付し、偽サイト(フィッシングサイト)に誘導し、口座番号やクレジットカード情報等の個人情報を騙し取ろうとする。

★身に覚えのない請求や不要な物品の購入勧誘

○「マスク50枚入」等の身に覚えのない注文に対する支払いを求めるメール
○「その浄水器を使っていると必ずコロナウイルスにかかります」などと、浄水器の買い替えを迫る電話
○「水道管にコロナウイルスが付着しており、除去するのにお金がかかる」と作業を迫る電話

地域の皆様と スポーツで交流

山梨県民信用組合長坂支店では、秋晴れの11月1日、山梨県民信用組合杯ゲートボール大会を、長坂総合スポーツ公園において開催しました。この大会も25回を数え、毎年皆様に楽しみにいただいております。今年も、長坂支店チームを含め8チーム約50名が参加し、熱戦が繰り広げられました。優勝は、本町チーム、準優勝は横針YGCチームで、試合終了後は支店職員とも交流を深めました。

また、昭和支店では、昭和町商工会が開催するグラウンドゴルフ大会に職員4名が参加しました。普段持ちなれないスティックの力加減がわからず苦戦しましたが、事業者の皆様と楽しく交流させていただきました。



【いつものベナントが結ばれたトロフィー】



【熱戦が繰り広げられました】



【表彰式は横内支店長から景品が】



【グラウンドゴルフ大会に参加した昭和支店のメンバー】